

平成28年度(2016年度)

管理事業名	児童会館事業				総合計画の 体系	第3章 第1節	健康で安心して暮らせるまちづくり すべての子どもが健やかに育つまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	3	民生費	(項)	2	児童福祉費	(目)	8	児童会館費
部局名	児童部	予算執行所属		子育て支援課						
予算大事業名 児童会館管理事業 児童会館運営事業 児童会館改修事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
事業の目的と概要 児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする児童会館・児童センターの管理、運営を行っています。 0歳から小学生までの幅広い子どもたちが安心していつでも利用できます。乳幼児とその保護者を対象とした幼児教室などを通じてあそびや交流の場を提供し、仲間づくりを促進しています。 また、老朽化に伴い、児童会館・児童センターの改修を行っています。										

I 事業の成果(実績)

指 標 名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成 果 指 標 の 定 義
延べ利用者数		人	316,814	326,673	334,484	児童会館・児童センターを利用した保護者と児童を合わせた数
幼児教室延べ参加人数		人	20,193	18,787	15,378	幼児教室に参加した児童数
成果の説明	就学前の児童を対象とした幼児教室の実施や午後に開催する毎日の行事の実施回数を増やすなどの取り組みにより、児童会館・児童センターの延べ利用者数は増加傾向にあります。					

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	19,786	20,434	26,503	6,069
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	185	-	4	4
その他	978	1,017	1,508	492
経常収入 小計(a)	20,949	21,451	28,015	6,565
給与関係費	270,530	274,976	274,107	△869
物件費	52,876	58,863	63,909	5,047
維持補修費	21,415	8,006	22,000	13,994
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,318	2,363	2,401	38
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	21,628	21,645	21,857	212
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,599	1,580	1,854	274
退職手当引当金繰入額	5,056	468	3,719	3,251
支払利息	5,582	4,237	2,883	△1,353
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	381,004	372,137	392,731	20,593
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△360,055	△350,687	△364,716	△14,029
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△360,055	△350,687	△364,716	△14,029
一般財源充当額	389,908	394,342	448,911	54,569
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	29,853	43,655	84,196	40,541

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
経常収入 その他	電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益 678千円
給与関係費	非常勤職員報酬、臨時雇用員賃金、職員人件費、運営委員会委員報酬
物件費	千里山竹園児童センター管理委託料 25,040千円 光熱水費 11,247千円 清掃業務委託料 9,859千円 防犯カメラ・AED等設置 6,655千円 ほか
維持補修費	各児童センター改修工事費 17,646千円 小規模修繕料 4,354千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	20,949	21,451	27,337	5,886
行政サービス活動支出	355,877	352,143	368,796	16,653
行政サービス活動収支差額	△334,927	△330,692	△341,459	△10,767
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	2,584	11,051	58,283	47,231
投資活動収支差額	△2,584	△11,051	△58,283	△47,231
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	52,396	52,598	49,170	△3,428
財務活動収支差額	△52,396	△52,598	△49,170	3,428
収支差額 合計	△389,908	△394,342	△448,911	△54,569
一般財源充当額	389,908	394,342	448,911	54,569
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 大阪府地域福祉・子育て支援交付金ほか (投資活動支出) 各児童センター改修工事費
--------------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分 析 内 容 (前 年 度 と の 増 減 理 由)
利用者1人あたりの コスト	平成26年度	316,814 人	1,203 円	利用者1人あたり1,174円のコストがかかっています。
	平成27年度	326,673 人	1,139 円	
	平成28年度	334,484 人	1,174 円	
1館あたりのコスト	平成26年度	11 館	34,636,727 円	1館あたり35,702,818円のコストがかかっています。主に改修工事費の支出の増により、1館あたりのコストが増加しました。
	平成27年度	11 館	33,830,636 円	
	平成28年度	11 館	35,702,818 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	50,749	30,230	△20,520
流動資産	-	-	-	地方債	49,144	28,350	△20,794
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,580	1,854	274
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	25	26	0
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	3,370,368	3,406,793	36,425	固定負債	115,435	88,863	△26,572
土地	2,790,247	2,790,247	-	地方債	96,805	68,455	△28,350
建物・工作物	580,048	616,498	36,450	長期借入金	-	-	-
リース資産	73	48	△25	退職手当引当金	18,581	20,384	1,803
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	49	24	△26
無形固定資産	-	678	678	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	166,184	119,092	△47,092
土地	-	-	-	純資産	3,204,184	3,288,380	84,196
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,370,368	3,407,472	37,104	純資産の部合計	3,204,184	3,288,380	84,196
				負債及び純資産の部合計	3,370,368	3,407,472	37,104

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

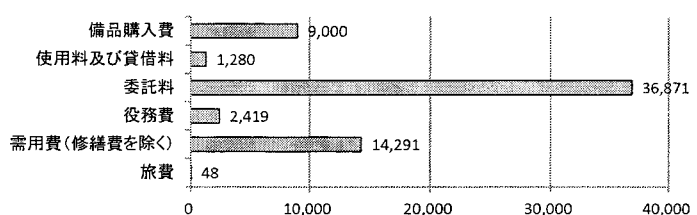
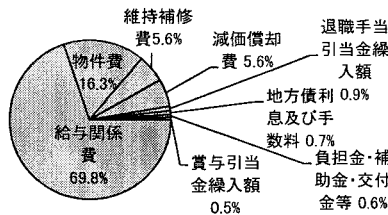
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	
事業従事人数	2.92 人	64 人	1,860 日	187 人	
給与関係費等	28,344 千円	227,269 千円	16,223 千円	7,844 千円	合計(千円) 279,680
内、時間外勤務手当	1,993 千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	朝日が丘児童センター他3館の改修工事による58,283千円の増 児童会館・児童センター(建物)11館の減価償却による21,832千円の減
無形固定資産	電話加入権678千円の増
地方債	千里山竹園児童センター、豊一児童センター建設債償還による49,144千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	千里丘児童会館ほか10館
取得年月日	昭和37年(1962年)4月1日～平成21年(2009年)9月1日
建物・工作物の取得価額	1,226,134 千円
建物・工作物の減価償却累計額	609,635 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		1.9	0.7	1.8	1.1
施設老朽化比率		48.9	50.3	49.7	△0.6
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		94.9	94.8	94.3	△0.5
経常費用対公共資産比率		32.9	31.9	32.0	0.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常経費のうち、給与関係費が69.8%、物件費が16.3%、維持補修費が5.6%、減価償却費が5.6%を占めています。物件費の主な内訳としては、11,831千円が清掃、ごみ収集、法定点検等の施設管理に係る委託料、25,040千円が千里山竹園児童センター指定管理委託料、11,247千円が光熱水費、2,661千円が消耗品費、9,000千円が備品購入費です。備品購入費のうち、6,655千円は大阪府地域福祉・子育て支援交付金を受けて、防犯カメラやAEDを設置したものです。

固定資産のうち、建物が減価償却により21,832千円の減となっていますが、平成28年度は、朝日が丘児童センターの大規模改修工事、五月が丘児童センター屋上防水改修工事、原町児童センター外壁改修工事並びに山田西児童センター屋上防水改修工事により、建物等の固定資産は36,450千円の増となっています。児童館全体の老朽化比率は49.7%です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

耐震補強が必要な施設の工事は完了していますが、必要な大規模改修を計画的に実施し、長期的な視点での維持補修費の削減を図る必要があります。

事業費の削減に努めていますが、事業に係るコスト全体の69.8%を占める給与関係費を削減することは困難です。また、指定管理者制度を導入している千里山竹園児童センターについても委託料は他館の運営費の水準に抑えられています。